

基本目標2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標1

水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 1

魅力と個性にあふれ、利便性が高く賑わいと活力あるまちをつくります



## 1 蒲田駅周辺のまちづくり

蒲田駅周辺地区グランドデザインの重点としている「駅を中心とする地区整備」は、「蒲田駅周辺再編プロジェクト」に基づき、公共基盤を再整備するとともに、周辺街区の建物更新を促進しながら、蒲田駅周辺の一体的なまちづくりを進めます。また、グランドデザインの策定から約10年が経過し、課題の再整理と周囲の動向の変化などから、グランドデザインの改定を進めます。

<b>決 算 額</b>	3,465,476,282 円	<b>執 行 率</b>	98.76%
<b>主要施策の成果（令和3年度の取組内容）</b>			
<p><b>【蒲田駅周辺再編プロジェクトの推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○東口駅前広場（区画街路第7号線）設計委託 <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前広場部予備修正設計委託を実施しました（令和4年3月完了）。</li> </ul> </li> <li>○（仮称）東口地下自転車駐車場修正設計委託 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下自転車駐車場修正設計を実施しました（令和4年3月完了）。</li> </ul> </li> <li>○用地買戻し 575.15㎡（1画地） <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地開発公社からの用地買戻しを行いました（令和3年10月契約）。</li> <li>・境界標復元測量並びに土地鑑定委託を実施しました。</li> </ul> </li> <li>○蒲田都市づくり推進会議を1/28に書面開催し、蒲田駅周辺地区グランドデザイン改定の進捗等を報告しました。</li> <li>○蒲田駅周辺地区グランドデザイン改定に向け、専門部会を5回実施するとともに、区民参画の機会を2回設け、素案及び案を作成しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門部会：4/26（第6回）、7/30（第7回）、10/28（第8回）、12/1（第9回）、3/14（第10回）</li> <li>・オープンハウス型説明会：7/16、17</li> <li>・パブコメ・説明会：1/17～2/4</li> </ul> </li> <li>○蒲田駅周辺地区基盤整備方針策定に向け、研究会を3回開催し、素案を作成しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究会：5/20（第4回）、10/20（第5回）、1/31（第6回）</li> </ul> </li> <li>○駅とまちが連携した効果的なまちづくりに向け、駅まちマネジメント検討部会を12/14に開催しました。</li> </ul> <p><b>【駅周辺街区のまちづくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安全・安心な街区形成に向けた共同化による建替え等を促進するため、地区再生計画を策定しました。</li> </ul>			
<b>所管部</b>	鉄道・都市づくり部、都市基盤整備部		



## 2 大森駅周辺のまちづくり

中心拠点の一つである大森駅周辺の都市機能更新・強化を図るとともに、まちの魅力を向上させるため、補助28号線（池上通り）の拡幅をはじめとする、都市基盤施設整備実現に向けた取組を進めます。また、臨海部への玄関口に必要な機能の検討を深めるとともに、地域住民等との合意形成を図ります。

<b>決 算 額</b>	99,891,653 円	<b>執 行 率</b>	98.67%
<b>主要施策の成果（令和3年度の取組内容）</b>			
<p><b>【駅西側周辺のまちづくり】</b></p> <p>○大森八景坂地区まちづくり協議会での検討支援を行い、大森八景坂地区デザインコードを景観計画に位置づける検討と、大森八景坂地区のブランディングについての検討が進められました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進委員会：6/10（第36回）、8/2（第37回）、10/4（第38回）、12/6（第39回）、2月書面開催（第40回）</li> </ul> <p>○補助28号線（池上通り）及び大森駅西口広場について、都市計画決定事務手続き及び調査設計を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第174回大田区都市計画審議会：11/4</li> <li>・第235回東京都都市計画審議会：12/22</li> <li>・都市計画変更決定告示（都・区同時）：1/24</li> <li>・大森駅西側周辺整備計画検討設計委託：3/15完了</li> <li>・補助28号線整備事業調査・検討委託：3/15完了</li> </ul> <p>○補助28号線（池上通り）周辺の建替え動向等の把握を継続しました。</p>			
<p><b>【駅周辺の活性化】</b></p> <p>○大森駅東口駅前広場等再編整備構想を踏まえて、官民連携まちなか再生推進事業（国土交通省補助）の活用を目指し、エリアプラットフォームの構築、未来ビジョンの策定に向けた事業者選定方法等の検討を進めました。</p> <p>○平和島駅周辺の歩行者環境改善のため、関係機関（交通事業者等）との協議を行いました。</p>			
<b>所管部</b>	鉄道・都市づくり部、都市基盤整備部		



### 3 身近な地域の魅力づくり

地域拠点である私鉄主要駅周辺において、歴史・文化・産業などの地域の特性を活かした魅力あるまちづくりを進めます。京急蒲田駅西口周辺では、センターエリアにおいて進められている共同化事業を支援します。雑色駅周辺地区では、再開発事業に向けてまちづくり活動団体を支援します。池上駅周辺地区では、鉄道事業者や地元 関係者により策定した「池上地区まちづくりガイドライン」を踏まえ、区が策定した「池上地区まちづくりグランドデザイン」に基づき、まちの魅力と機能向上を図ります。多摩川線沿線駅周辺地区では、新空港線整備に伴う駅周辺のまちづくりに向けた検討を行います。

<b>決 算 額</b>	105,185,792 円	<b>執 行 率</b>	95.56%
<b>主要施策の成果（令和3年度の取組内容）</b>			
<p><b>【地域拠点駅周辺のまちづくり】</b></p> <p>○池上駅周辺地区 補助第43号線整備において課題となっている池上1号踏切との交差方式について、周辺道路や駅ビル等への影響を踏まえた比較検討を行いました。加えて、「池上地区まちづくりグランドデザイン」を踏まえて、池上の景観整備のあり方に関する検討を行い、基本的な内容を整理しました。</p> <p>○洗足池駅周辺地区 洗足池公園を含む洗足池駅周辺の活用について検討を行い、駅前及び公園等の暫定的活用方法等について整理しました。</p> <p>○多摩川線沿線駅周辺地区 「まちづくり構想」の策定に向けて、下丸子駅周辺地区のまちの将来を考える会（勉強会）を3回開催し、区が取りまとめた「下丸子駅周辺地区のまちづくり構想（案）」を基に、地元の関係者と意見交換を行いました。 ・勉強会：10/18（第1回）、12/1（第2回）、2/14（第3回）</p> <p>○区画街路第1号線その2区間電線共同溝整備工事を完了しました。</p> <p>○区画街路第1号線その3区間引込管・連系管工事を完了しました。</p>			
<p><b>【京急蒲田駅西口、雑色駅周辺地区のまちづくり】</b></p> <p>○京急蒲田駅西口周辺地区 京急蒲田西口地区まちづくり研究会の活動を支援するとともに、街区別に進められている共同建替事業の検討を支援しました。また、区が地権者として参加した蒲田四丁目16番街区の共同建替事業において、「おおた国際交流センター」の整備に向けた関係部局の総合調整を行い、令和4年4月に開設しました。</p> <p>○雑色駅周辺地区 雑色駅周辺まちづくり研究会が、「地域の将来像」の実現に向けた今後の活動方針を決定するための支援を行いました。</p>			
<b>所管部</b>	鉄道・都市づくり部、都市基盤整備部		



#### 4 20年後の未来を見据えたまちづくり基本方針の検討

平成23年(2011年)に改定した都市計画法第18条の2の規定に基づく大田区都市計画マスタープラン(都市計画に関する基本的な方針)について、区の内外を取り巻く情勢の変化などを踏まえて、具体性ある将来ビジョンを確立し、まちづくりを推進するため、改定に向けた検討を進めます。

<b>決算額</b>	12,569,000 円	<b>執行率</b>	98.11%
<b>主要施策の成果（令和3年度の取組内容）</b>			
<p>【大田区都市計画マスタープランの改定】</p> <p>○改定に向けて、学識経験者による改定推進委員会を3回(6/25、9/2、2/2)開催し、専門的かつ幅広い見地から検討を行いました。また、各部管理職による庁内検討委員会を2回(5/20、1/7)開催し、関係部局の諸施策や各分野の課題を踏まえた検討を行いました。</p> <p>○区民及び関係団体にアンケートを実施し、大田区全体のまちづくりに対する満足度や地域のまちづくりの方向性についての重要度に関する意見を収集しました。</p> <p>○パブリックコメントを実施するとともに、大森、調布、蒲田、糎谷・羽田の各地区で区民説明会を開催し、改定案に係る意見を収集しました。</p> <p>○令和4年3月に大田区都市計画マスタープランを改定しました。</p>			
<b>所管部</b>	まちづくり推進部		



#### 5 新空港線の整備推進

国際化した羽田空港へのアクセス機能の強化は、区内の移動の利便性を向上させるとともに、人々の国内外への往来をさらに快適なものにします。JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅を結ぶ新空港線の整備を、事業着手に向けて推進します。

<b>決算額</b>	100,553 円	<b>執行率</b>	0.06%
<b>主要施策の成果（令和3年度の取組内容）</b>			
<p>【関係者との協議及び事業推進】</p> <p>○令和2年度に引き続き、新空港線整備事業における、都区の費用負担割合の合意形成を図るため、東京都と「新空港線及び沿線まちづくり等の促進に関する協議の場」での協議を継続しました。</p> <p>・第4回「協議の場」：12/23</p> <p>○「協議の場」において、乗換利便性の向上等の各検討項目について、検討状況の確認を行いました。乗換利便性の向上については、需要予測の前提条件となる乗換動線を整理しました。</p> <p>○新空港線の整備実現に向け、区民からより一層の理解が得られるよう、地域のイベントにおいてブースを出展し、事業内容の紹介とPRを行いました。</p>			
<b>所管部</b>	鉄道・都市づくり部		



## 6 都市計画道路の整備

主要幹線道路間の円滑化を図り、安全で快適な歩行者空間を確保するため、街路整備を推進します。

決 算 額	485,918,984 円	執 行 率	68.31%
<b>主要施策の成果（令和3年度の実施内容）</b>			
<p><b>【補助第44号線（上池台）】</b></p> <p>○用地取得が完了した第Ⅳ期区間の電線共同溝の引込管・連系管工事を完了しました。</p> <p>○第Ⅴ期区間の早期の計画的な用地取得に向けて、測量・物件調査等を進めながら折衝を実施しました（移転完了済み2画地あり）。</p>			
<p><b>【補助第43号線（仲池上）】</b></p> <p>○第Ⅰ期区間の用地取得完了区間の企業者支障移設工事（企業者施工）に着手しました。</p> <p>○第Ⅰ期区間残り1画地の用地取得に向け、折衝を継続しながら収用手続きを検討しました。</p> <p>○第Ⅱ期区間の新規事業化に向けて用地測量等を実施しました。</p>			
<p><b>【補助第38号線（羽田旭町・東糀谷）】</b></p> <p>○残り2画地の用地取得に向けた折衝を継続しており、うち1画地について収用手続きを検討しました。</p> <p>○旭橋以北区間での引込管・連系管工事を完了しました。</p>			
<p><b>【補助第27号線（大森北）】</b></p> <p>○電線共同溝詳細設計（既存ストック協定）を完了しました。</p>			
<p><b>【補助第34号線（大森西）】</b></p> <p>○新規事業化に向けて現況測量等を実施し、完了しました。</p>			
<b>所管部</b>	都市基盤整備部		



## 7 自転車等利用総合対策の推進

「大田区自転車等利用総合基本計画に基づく整備計画」を推進し、自転車等駐車場や自転車走行環境＊を整備します。また、単なる移動手段にとどまらず、健康づくりや観光スポット巡り等における自転車の活用について、関係機関と連携しながら検討を進めます。

<b>決算額</b>	193,592,475 円	<b>執行率</b>	95.56%
<b>主要施策の成果（令和3年度の実施内容）</b>			
<p><b>【放置自転車対策の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自転車等駐車場施設更新及び増設を検討しました（穴守稲荷駅前、天空橋駅前、大森駅西口）。</li> <li>○駅前放置自転車クリーンキャンペーン（区設掲示板でのポスター掲示、都市基盤管理課、特別出張所窓口への啓発品配置等）を実施しました。</li> </ul>			
<p><b>【自転車走行環境の整備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自転車走行環境約30kmの整備を完了しました。</li> <li>○自転車走行環境の利用啓発を行いました。</li> </ul>			
<p><b>【コミュニティサイクル事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○区内全域その他で計26か所のサイクルポートを設置しました。</li> <li>○リーフレットを区内観光施設等に配布し、事業周知を行いました。</li> <li>○広域相互利用参加区と定例会議（5回）を行い、情報共有を図りました。</li> </ul>			
<p><b>【総合計画の策定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大田区自転車等駐車対策協議会開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2回（10/20、2/3）開催し、次期計画の答申を受けました。</li> </ul> </li> <li>○大田区自転車活用推進委員会開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2回（6/24、1/20）開催し、新たな自転車活用の視点である「たのしむ」の施策をとりまとめました。</li> </ul> </li> <li>○次期大田区自転車等総合計画策定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年3月に大田区自転車等総合計画（令和4年度～13年度）及び前期アクションプラン（令和4年度～8年度）を策定しました。</li> <li>・素案について、パブリックコメント（12/6～21）及び区民説明会（12/10、12）を実施しました。</li> <li>・「たのしむ」施策の一部を先行実施しました（はねびょん健康ポイントアプリで自転車を活用した健康づくりについての情報発信（4回）、自転車で観光を楽しむ散走の試行実施（11月）、おおた健康経営事業所に対する自転車活用に関するアンケート調査の実施（12月）等）。</li> </ul> </li> </ul>			
<b>所管部</b>	都市基盤整備部		

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く<sup>まち</sup>都市

個別目標 1

水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2

身近な場所でみどりと触れ合える潤いとやすらぎのあるまちをつくります



## 1 拠点公園・緑地の整備

区民に身近な公園は、水やみどりと触れ合うことができる憩いの場としての機能のみならず、まちの安全性を高める機能も併せ持っています。区内のみどりの総合的な機能拡充を図り、「都市計画公園・緑地の整備方針」に基づく優先整備区域の早期整備や、新たなみどりの拠点となる公園・緑地の整備を進めます。

決 算 額	2,083,124,118 円	執 行 率	90.52%
<b>主要施策の成果（令和3年度の実施内容）</b>			
<p><b>【拠点公園の整備】</b></p> <p>○田園調布せせらぎ公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度分購入用地（第3期分）について、国の補助を受け、大田区土地開発公社より買戻しを完了しました（買戻し3年計画の最終年度）。</li> <li>・拡張部の一部の設計及び整備を完了しました。</li> </ul> <p>○洗足池公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「名勝洗足池公園保存活用連絡協議会」について、令和4年度の設置に向けて教育委員会と協議し、協議会設置要綱を教育委員会にて決定しました。</li> <li>・西岸部拡張用地の都市計画事業化に向け東京都と協議を行いました。</li> <li>・名勝洗足池公園保存活用計画について、東京都の補助を受けて印刷製本し、各機関に配本しました。</li> <li>・名勝洗足池公園保存活用計画基礎調査委託（樹木調査その2）について、東京都の補助を受けて調査を行い、委託を完了しました。</li> </ul> <p>○大森ふるさとの浜辺公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都下水道局用地（大森東水辺スポーツ広場）の購入について東京都下水道局と協議し、土壌汚染による健康被害の危険性がないことを確認したため、用地を公社購入しました。</li> <li>・東京都下水道局用地部分の都市計画決定の手法について東京都都市整備局へ提示して協議した結果、「大森ふるさとの浜辺公園の増設が妥当」との結論となり、令和4年度に都市計画決定することとなりました。</li> </ul>			
<p><b>【拠点公園の再整備】</b></p> <p>○平和島公園の設計が完了し、整備工事に着手しました。</p> <p>○西六郷公園（タイヤ公園）の改良工事、管理棟新築工事を完了しました。</p>			
<p><b>【地域の拠点となる公園・緑地の創出】</b></p> <p>○森ヶ崎緑華園の整備工事を完了しました。管理棟新築工事については、地中障害物の除去に時間を要したため、工期を延伸しました。</p>			

### 【拠点公園における公民連携の推進】

○田園調布せせらぎ公園

・指定管理者制度に移行して最初のモニタリングを、令和2年度業務を対象に実施しました。

○平和島公園、平和の森公園、大森ふるさとの浜辺公園

・大森ふるさとの浜辺公園の利用に関するアンケートを実施しました。その結果、公園の利便性及び魅力向上に向けて、民との連携が重要であることが明らかになったため、公民連携導入可能性の検討を行いました。

**所管部**

都市基盤整備部





## 2 地域に根ざした公園・緑地の整備

区民との協働による公園・緑地の新設・拡張やリニューアル整備などの機会をとらえ、多様な世代の人が利用しやすく、「地域の庭・広場」として地域に親しまれ、区民に愛される魅力ある公園づくりを進めます。また、災害における一時避難所等として、まちの防災機能向上を図ります。

<b>決 算 額</b>	348,461,926 円	<b>執 行 率</b>	95.76%
<b>主要施策の成果（令和3年度の取組内容）</b>			
<p><b>【地域に根ざした公園・緑地の新設・拡張】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○平張第二児童公園の設計（直営）を完了しました。</li> <li>○平張第二児童公園の隣接地について、東京都の補助を受け、大田区土地開発公社より買戻しを行いました。</li> </ul>			
<p><b>【地域に根ざした公園のリニューアル】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本羽田第三公園の地元調整と設計を完了しました。</li> <li>○東雪谷二丁目公園の改良工事を完了しました。</li> <li>○蒲田本町一丁目公園の改良工事を完了しました。</li> </ul>			
<p><b>【健康支援公園の整備推進（いきいき健康公園づくり）】</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「はねびょん健康ポイント」と本事業との連携による4年度からの事業展開に向けた調整を行いました。</li> <li>○鶉の木地区の計画・設計を完了しました。</li> </ul>			
<p><b>【子育て支援公園の整備推進（子育てひろば公園づくり）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子育てひろば公園づくり事業について調査・検討しました。</li> <li>○京浜蒲田公園の設計を完了しました。</li> <li>○池上五丁目公園の改良工事を完了しました。</li> <li>○だれでも遊具（UD遊具）の導入について、調査・検討を継続して実施しました。</li> </ul>			
<p><b>【遊具の安心・安全対策の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○遊具点検（劣化点検）を実施しました（劣化点検は年に1回、規準点検は2年に1回実施）。</li> </ul>			
<p><b>【樹木の保全更新】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○サクラの保全・更新のため、洗足池公園で樹木更新工事7本、多摩川台公園で樹木更新工事5本を実施しました。</li> <li>○名勝洗足池公園保存活用計画基礎調査委託（樹木調査その2）を契約し、景観構成重要木451本について外観調査を行い、樹木についての保存活用計画を策定しました。</li> </ul>			
<b>所管部</b>	都市基盤整備部		



### 3 地域力を活かしたみんなのみどりづくり

ふれあいパーク活動やおおた花街道など、区民、事業者、行政の連携による道路・公園などの維持管理や利活用を推進します。公園・緑地などを地域住民が「地域の庭・広場」として利活用できるような活動を支援します。

<b>決 算 額</b>	13,461,155 円	<b>執 行 率</b>	86.83%
<b>主要施策の成果（令和3年度の取組内容）</b>			
<p><b>【ふれあいパーク活動の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○参加団体の増加に向け、区設掲示板等へのポスター掲示（5月号）や区報（9/1号）を活用した「ふれあいパーク活動」内容の紹介等を行い、幅広く公募活動を行いました。</li> <li>○情報誌（広報誌「ふれあいパーク」第21号）を3月に発行しました。</li> <li>○パンフレットやニュースを各施設で配布し、幅広く自治会・町会等の地域住民や企業等の目に触れるよう努めました。</li> </ul>			
<p><b>【おおた花街道の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○道路の植え込みや駅前広場の花壇に対し、地域の方々が主体的に整備できる体制を、花苗や軍手等の活動の消耗品購入等により支援しました。</li> </ul>			
<p><b>【公園施設利活用の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公園緑地ストック活用の「いきいき健康公園づくり」「子育てひろば公園づくり」の2事業について、新たな都の補助金を取得しました（3つのCに係る区市町村新規包括補助）。</li> <li>○健康づくり課の「はねぴょん健康ポイント」アプリと連携し、更なる公園利用を図るため、新規機能追加について検討しました。</li> <li>○平和の森公園展示室運営を委託しているNPO団体と連携・協力を図り、施設活用を促進させ、利用者の増加を目指しています。新型コロナウイルス感染拡大状況における受託事業の実施のあり方を協議し、通常よりイベントの参加者数を減らして開催しました。また、老朽化した施設の改善について現地で協議し、中長期的な視点で改善することとしました。</li> </ul>			
<b>所管部</b>	都市基盤整備部		



## 4 呑川水質浄化対策の推進

呑川の水質を改善するため、東京都や流域自治体と連携して、総合的な水質浄化対策を研究・検討し、浄化施設などによるスカム対策、悪臭対策、ユスリカ対策などを推進します。合流式下水道の改善に向けて、東京都と連携・協力し、呑川合流改善貯留施設の整備を推進します。

<b>決算額</b>	467,532,233 円	<b>執行率</b>	92.72%
<b>主要施策の成果（令和3年度の取組内容）</b>			
<p><b>【東京都や流域自治体と連携した総合的な水質浄化対策の検討、研究】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○呑川水質浄化対策研究会を開催し、東京都と流域自治体で実施する総合的な水質浄化対策の推進及び進捗状況の確認を行いました。</li> <li>○呑川水質調査を実施（12回）しました。</li> <li>○呑川の状況を監視するパトロールを実施し、悪臭やスカムの発生状況を把握するとともに、データを関係機関に提供し、浄化装置の評価等に活用しました。</li> </ul>			
<p><b>【水質浄化対策の実施】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水質改善に関する取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高濃度酸素水浄化施設を稼働しました。</li> <li>・スカム発生抑制装置を稼働しました。</li> <li>・スカム対策・汚泥浚渫を実施しました。</li> <li>・総合的な水質浄化による改善効果の検討は、水質調査、カメラ調査等にて行いました。</li> </ul> </li> <li>○合流式下水道の改善に関する取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・貯留施設の整備において、立坑設置に伴う用地整備工事を実施し、立坑設置工事に着手しました。</li> <li>・開発地区等の部分分流化に向けて、開発事業等の情報提供について東京都下水道局と調整を行いました。</li> </ul> </li> </ul>			
<b>所管部</b>	都市基盤整備部、環境清掃部		



## 5 散策路の整備

河川や海など、貴重な自然環境資源を活かし、区民にとって身近で親しみやすく、魅力的な観光資源となる水と緑のネットワークの形成・拡充を推進します。

決 算 額	129,097,528 円	執 行 率	95.96%
<b>主要施策の成果（令和3年度の実施内容）</b>			
<p><b>【呑川緑道】</b></p> <p>○整備工事（東雪谷三丁目、延長約108m）を完了しました。</p>			
<p><b>【海辺の散策路】</b></p> <p>○貴船堀部は、東京都港湾局の水門・建屋撤去完了に合わせて、歩道橋への散策路取付部整備工事を完了しました。</p> <p>○旧呑川部は、水門跡地における建屋解体工事に関し東京都港湾局と調整を行い、歩道橋予備・詳細設計委託を完了しました。</p> <p>○呑川河口部は、東京都港湾局の防潮堤建設工事と大田区歩道橋架設工事に関する施工時期等について工程調整を行いました。</p> <p>○北前堀は、東京都港湾局が行う防潮堤建設工事と大田区が設置する係留施設の位置や施工時期等に関して都区で調整を行いました。</p> <p>○南前堀の歩道橋予備・詳細設計委託については、東京都港湾局の水門撤去範囲に関する漁業関係者調整が難航して基本方針が定まらなかったため、次年度以降へ見送りました。</p>			
<p><b>【公共溝渠の整備】</b></p> <p>○北前堀の東芝橋撤去工事を完了しました。</p>			
<b>所管部</b>	都市基盤整備部		

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 1

水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 3


災害に強く安全で安心して暮らせるまちをつくります

11 住み続けられる  
まちづくりを



## 1 燃えないまちづくりの推進


不燃化建替助成などを行い、木造住宅が密集する市街地、地区防災道路沿道の不燃化を促進します。

決算額	284,636,401 円	執行率	74.11%
<b>主要施策の成果（令和3年度の実施内容）</b>			
<b>【不燃化の促進】</b> 			
○住宅市街地総合整備事業の推進により、羽田地区道路用地を4件取得するとともに、防災広場を2か所整備しました。			
○都市防災不燃化促進事業により、「大森中・糀谷・蒲田地区防災街区整備地区計画」及び「羽田地区防災街区整備地区計画」の区域内において、18件の助成を行い地区防災道路周辺の建物の建替え促進を図りました。			
○不燃化特区制度を活用した不燃化まちづくり助成事業により、「大森中地区」及び「羽田二・三・六丁目地区」の区域内において、26件の助成を行い建物の除却・建替えの促進を図りました。			
所管部	まちづくり推進部		



## 2 倒れないまちづくりの推進


耐震化助成などを行い、主要道路沿道の民間建築物などの耐震化を促進します。

<b>決算額</b>	851,970,022 円	<b>執行率</b>	79.52%
<b>主要施策の成果（令和3年度の取組内容）</b>			
<p><b>【耐震化の促進】</b> </p> <p>○建築物耐震化助成実績は、コンサルタント派遣258件、診断74件、設計51件、工事（除却を含む）250件、アドバイザー派遣1件でした。</p> <p>○助成制度について蒲田地区7,712戸に個別周知を行い、51件に個別訪問を行った結果、新たに3件の耐震コンサルタント派遣、18件の耐震診断助成の申請に繋がりました。</p> <p>○特定緊急輸送道路沿道建築物助成制度について、助成の条件である耐震改修設計の着手期限を令和4年度末までに延長しており、引き続き、制度の利用について建物所有者に個別に働きかけ、設計4件、工事4件の助成を行いました。</p> <p>○沿道耐震化道路沿い建築物の耐震化を促進するために、助成制度の個別周知を行った結果、診断5件、設計3件、除却13件の助成を行いました。</p>			
<b>所管部</b>	まちづくり推進部		



## 3 地域の道路整備

狭あい道路の拡幅整備や私道の整備を行い、安全で快適な生活環境の向上を図ります。

<b>決算額</b>	764,863,758 円	<b>執行率</b>	78.70%
<b>主要施策の成果（令和3年度の取組内容）</b>			
<p><b>【地域の道路整備】</b> </p> <p>○建築基準法第42条第2項に定められた幅員4m未満の狭あい道路の拡幅整備を実施（整備件数343件、整備面積2,336㎡、整備延長3,920m）しました。</p> <p>○区内総延長261km（両側で522km）のうち、約106km（整備率20.3%）の拡幅整備が完了しました（令和3年度末）。</p> <p>○地域住民の生活道路である私道の道路舗装等の工事助成を実施（件数3件、面積257㎡）しました。</p>			
<b>所管部</b>	まちづくり推進部		



## 4 安全で快適な住環境の確保

空家等の適切な維持管理や活用等に関する相談に応じ、空家対策を推進します。また、民間賃貸住宅への入居が制限されがちな高齢者、障がい者、ひとり親世帯などが安心して住替えができるよう、住宅確保支援事業を実施するとともに、住宅の所有者については、住宅リフォームの助成を実施することにより、快適な住環境の確保を促進します。分譲マンションについては、適正に管理が行われるよう、東京都と連携して対策を進めます。

決 算 額	155,740,392 円	執 行 率	95.71%
<b>主要施策の成果（令和3年度の実施内容）</b>			
<p><b>【空家等対策の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○空家総合相談窓口で390件、空家総合相談会で46組の相談を受けました。</li> <li>○空家の活用に関する相談（所有者延べ46件、利用者延べ49件）を受け、所有者10件、利用者10件を空家等地域貢献活用事業に登録しました。</li> <li>○空家所有者と利用者との間でマッチングが1件成立しました。</li> <li>○空家に関する陳情（135件）等を受け、管理不全な空家所有者等に対し、改善を求める文書を126件送付しました。</li> <li>○空家等対策庁内調整会議を2回、同作業部会を2回、空家等対策審議会を2回開催しました。</li> </ul>			
<p><b>【住宅確保要配慮者への支援】</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○住宅確保要配慮者の相談に応じ助言を行うとともに、協力不動産店リストを提供しました。</li> <li>○民間賃貸住宅の賃貸借契約・更新にあたり、保証人の確保ができない方に対し、加入費及び保険料等の一部を助成しました。（助成実績：家賃保証制度加入費補助13件、賠償責任保険料等補助3件（令和3年度までの経過措置））</li> <li>○保証会社利用時に緊急連絡先がない方に対し、緊急連絡先代行サービスの利用料の一部を助成しました。（助成実績：1件）</li> <li>○入居者死亡保険（残存家財（遺品）の整理、空家になったことによる逸失家賃の損害等を補償内容に含むもの）に加入した方に対し、加入費の一部を助成しました。（助成実績：4件）</li> <li>○セミナーの開催や冊子等を作成し、居住支援協議会の活動及び支援制度の普及啓発を行いました。</li> <li>○居住支援協議会を2回、同庁内検討会を2回、同庁内検討会作業部会を2回、同合同作業部会を2回開催しました。また、居住支援セミナーを1回、職員向け研修会を1回開催しました。</li> </ul>			
<p><b>【分譲マンション維持管理支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○YouTube大田区チャンネルにて分譲マンション管理セミナーを配信し、居住者や管理組合等を対象とした分譲マンション相談会（1回）を実施しました。</li> <li>○マンション建替え法に基づく建替組合設立認可申請の予定がある事業者から、事前相談を受けました。</li> <li>○マンション管理組合の役員等を対象とした、マンション管理無料相談会を実施しました。</li> <li>○管理状況届出制度に基づき、管理不全の兆候のあるマンション24件、未届マンション27件への調査・助言を実施しました。</li> </ul>			

【「新しい生活様式」に対応した住宅リフォームの支援】

- 令和3年度から住宅リフォーム助成の対象に、新しい生活様式への対応工事を追加しました。
- 新しい生活様式への対応工事を対象に70件、4,376,000円を助成しました。  
(住宅リフォーム助成事業全体:助成件数932件、助成金額109,637,000円)

<b>所管部</b>	まちづくり推進部
------------	----------



5 無電柱化の推進

「都市防災機能の強化」、「安全で快適な歩行者空間の確保」、「良好な都市景観の創出」に寄与する、区道の無電柱化を計画に基づき推進します。

<b>決 算 額</b>	72,094,883 円	<b>執 行 率</b>	54.34%
--------------	--------------	--------------	--------

**主要施策の成果（令和3年度の実施内容）**

【無電柱化の整備】

- 羽田一丁目から羽田六丁目
  - ・電線共同溝予備設計委託(2・3工区)を完了しました。
  - ・試掘調査工事(2・3工区)を完了しました。
  - ・電線共同溝整備工事(1工区産業道路側)につきましては、CCBOX埋設の遅れや舗装復旧面積の拡大等から、工期を延伸しました。
  - ・引込管・連系管(1工区弁天橋側)の整備を完了しました。
- 北千束三丁目
  - ・道路整備及び電線共同溝整備詳細設計委託を完了しました。

<b>所管部</b>	都市基盤整備部
------------	---------





## 6 橋梁の耐震性の向上

橋梁は円滑な交通に資するとともに、災害時には避難や物資輸送の要としての機能を担う、重要なインフラです。区が管理する橋梁の中で、鉄道や道路を跨ぐ橋梁、道路ネットワークにおける路線の位置付け、地震による被災事例を踏まえて、92 橋を優先対策橋梁に選定し、架替え・耐震補強整備を計画的に進めます。

決 算 額	285,168,160 円	執 行 率	75.37%
<b>主要施策の成果（令和3年度の実施内容）</b>			
<p><b>【架替え整備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○関係機関協議 4橋           <ul style="list-style-type: none"> <li>・平和島陸橋（北側）は首都高速道路株式会社と施工計画を進めました。</li> <li>・三ツ木橋、境橋、旭橋は東京都河川部と計画協議、設計協議を進めました。</li> </ul> </li> <li>○調査、設計等 5橋           <ul style="list-style-type: none"> <li>・旭橋、平和島陸橋（北側）首都高部、貳之橋、三ツ木橋、境橋は、契約締結し、設計に着手しました。</li> </ul> </li> <li>○工事 2橋           <ul style="list-style-type: none"> <li>・貳之橋は、令和3年6月に契約締結し、10月より工事に着手しました。</li> <li>・二の橋は、令和3年11月に契約締結し、令和4年3月に工事が完了しました。</li> </ul> </li> </ul>			
<p><b>【耐震補強整備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○関係機関協議 4橋           <ul style="list-style-type: none"> <li>・平和島陸橋（北側）は、首都高速道路株式会社と協議を進めました。</li> <li>・東原橋、稻荷橋、美富士橋は、JR東海、JR東日本と協議を進めました。</li> </ul> </li> <li>○調査、設計等 3橋           <ul style="list-style-type: none"> <li>・平和島陸橋（北側）（南側）、久根橋は、契約締結し、設計に着手しました。</li> </ul> </li> <li>○工事 3橋           <ul style="list-style-type: none"> <li>・久根橋工事を完了し（令和3年8月）、引き続き同契約案件の長栄橋の工事に令和3年10月に着手しました。</li> <li>・新根方橋は、令和3年2月に協定締結し、令和3年4月に工事に着手しました。</li> </ul> </li> </ul>			
<b>所管部</b>	都市基盤整備部		



## 7 都市基盤施設の維持管理の推進

日常生活や経済活動を支え、災害対策においても重要な役割を担う道路・橋梁などの維持管理手法を対症療法型から予防保全型へ転換し、都市基盤施設を延命化するとともに、PDCAサイクルに基づく計画的な維持管理やデジタル化を進め、施設の安全性を確保します。

<b>決 算 額</b>	2,178,882,830 円	<b>執 行 率</b>	96.34%
<b>主要施策の成果（令和3年度の取組内容）</b>			
<p><b>【橋梁の補修】</b></p> <p>○調査10橋（稲荷橋、長栄橋、清水窪歩道橋、山王歩道橋、平和島歩道橋、三ツ木橋歩道橋、四の橋歩道橋、二の橋歩道橋、清水橋歩道橋、宝来歩道橋）を完了しました。</p> <p>○修繕設計2橋（浄国橋、一本橋）を完了しました。</p> <p>○修繕工事5橋（二之橋、西の橋、老松橋、入船橋、御嶽橋）を完了しました。</p>			
<p><b>【道路の維持管理】</b></p> <p>○道路舗装改良工事を以下のとおり実施しました。</p> <p><b>【蒲田、糀谷・羽田地区】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西蒲田八丁目23番から24番先 A=1,100㎡ の工事を完了しました。</li> <li>・西糀谷三丁目26番から31番先 A=2,100㎡ の工事を完了しました。</li> <li>・羽田四丁目8番から12番先 A=160㎡ の工事を完了しました。</li> </ul> <p>○アスファルト舗装工事を以下のとおり実施しました。</p> <p><b>【大森地区】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大森北六丁目17番から27番先 A=178㎡ 2/15竣工</li> </ul> <p><b>【調布地区】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久が原四丁目29番から42番先 A=681㎡ 3月竣工</li> <li>・東雪谷五丁目11番から40番先 A=400㎡ 12月竣工</li> </ul> <p><b>【蒲田、糀谷・羽田地区】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本羽田三丁目17番から16番先 A=233㎡ 3/15竣工</li> </ul> <p>○道路台帳の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理支援システムの窓口運用を開始しました。</li> <li>・道路情報の随時更新を遅滞なく実施しました。</li> </ul> <p>○MMS測量による道路台帳現況平面図の更新（鶉の木一丁目ほか12か所）を実施しました。</p> <p>○地籍調査を推進しました（大森北四丁目、矢口二丁目、久が原五丁目、多摩川二丁目）。</p>			
<b>所管部</b>	都市基盤整備部		



## 8 交通安全の推進

交通事故を防止するには、人も車もお互い思いやりを持ち、交通ルールやマナーを守って行動することが大切です。区民や警察などの関係機関と連携を強化し、子どもから高齢者まで、世代や属性に合わせた交通安全教育や意識啓発を行います。また、道路等における安全対策を推進し、交通死亡事故ゼロのまちを目指します。

<b>決算額</b>	108,010,101 円	<b>執行率</b>	67.32%
<b>主要施策の成果（令和3年度の実施内容）</b>			
<p><b>【ルール・マナーの教育・啓発】</b></p> <p>○交通安全知識の啓発活動推進（感染対策により縮小）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園向けの交通安全移動教室を実施（63回）しました。</li> <li>・高齢者向け交通安全集会を実施（13回）しました。</li> <li>・交通安全だより春号（4月）、夏号（7月）、冬号（12月）を配布しました。</li> <li>・区報にて交通安全啓発記事を掲載しました。</li> </ul>			
<p><b>【交通安全環境の整備】</b></p> <p>○交通安全施設（自転車・歩行者ストップマーク、ガードレール、標識等）の整備を推進しました。</p>			
<b>所管部</b>	都市基盤整備部		



## 9 水防活動拠点の整備

激甚化する水害に備え、六郷地区及び田園調布地区に水防活動拠点を整備し、更なる治水対策の強化を進めます。

<b>決算額</b>	271,764,888 円	<b>執行率</b>	85.23%
<b>主要施策の成果（令和3年度の実施内容）</b>			
<p><b>【水防活動拠点の整備】</b> <span style="color: orange;">!</span></p> <p>○大田区仲六郷水防資機材センター 11/19に竣工し、令和4年4月1日に運用開始しました。</p> <p>○大田区田園調布水防センター 12/7に契約締結し、令和4年2月に工事着手しました。</p>			
<b>所管部</b>	都市基盤整備部		

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2

首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 1



空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつながるまちをつくりま



## 1 HANEDA GLOBAL WINGS のまちづくり

羽田イノベーションシティに集積する国内外のヒト・モノ・情報の交流を活発化させ、イノベーションの創出や日本文化、区の魅力などの発信を通じて、地域の活性化を目指します。併せて多摩川沿いエリアに水や緑に親しめる親水緑地を整備し、河川空間のオープン化を推進するとともに、親水緑地と連続性を持たせた都市計画公園を整備することで、多様な人々が楽しめる空間創出を図ります。

また、区施策活用スペース（「HANEDA×PiO」）の施設運営のほか、同スペース内交流空間の利用拡大を図り、同空間を HUB とした新産業創造・発信エコシステムの構築に向けて、モデルとなる事業の実装に向けた取組や当該事業の外部プロモーション等を推進します。

決 算 額	770,200,117 円	執 行 率	94.53%
<b>主要施策の成果（令和3年度の取組内容）</b>			
<p><b>【羽田イノベーションシティにおける公民連携事業の推進】</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○整備・運営事業者による令和2年度の実績を踏まえ、モニタリング報告書を作成し、議会報告を行いました。</li> <li>○Ⅱ期エ区エリアについては、7/30に建設工事に着手し、予定通り2023年の全施設開業に向け進捗しました。</li> <li>○スマートシティの構築において、HICityで運行する自動運転バスを羽田空港第3ターミナルまで延伸し、公道上での運行の実証実験を行い、運行の定常化及びMaaS等、新たなサービスの実装に向けた基盤構築に取り組みました。</li> <li>○7/11号の区報1面に羽田イノベーションシティ及び都市計画公園の記事を掲載することにより、第1ゾーン整備事業の着実な推進について広く発信しました。</li> <li>○羽田イノベーションシティの本格稼働から1周年を記念して、11/5～7に「スマートシティEXPO 2021」を開催し、先端技術を活用した年齢や障がいの有無にかかわらず誰もが楽しめるスポーツ等を通じて、新型コロナウイルス感染症の流行による新しい生活様式の導入や多様性と調和への意識醸成等、新たな価値観について『考える』機会を提供しました。</li> <li>○大田区文化祭における文化コンテンツの発信について、部局横断的な連携と羽田みらい開発株式会社やテナントの協力により取り組みました。</li> </ul>			
<p><b>【羽田イノベーションシティ「HANEDA×PiO（区施策活用スペース）」の利用拡大】</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○羽田イノベーションシティ内区施策活用スペース「HANEDA×PiO（ハネダピオ）」については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも、アライアンスパートナーとの連携やモニター利用者の誘致等を進めるとともに、令和3年10月に交流空間ゾーン「PiO PARK（ピオパーク）」の稼働を開始しました。</li> <li>○同ゾーン内におけるエコシステムの構築については、モデル事業2件を採択し、事業実装を進めました。また、取組内容を広く発信するためのプロモーション事業の導入も進めました。</li> <li>○テナントゾーンについては、全17区画のうち、10事業者17区画の入居が決定しました。本ゾーンにおいて</li> </ul>			

は、入居テナント間の交流会開催等を通じた相互交流や区内企業との連携創出に関する取組を行いました。

### 【都市計画道路・公園、緑地などの整備及び潤いと賑わいのある空間創出】

- 第1ゾーンでは独立行政法人都市再生機構により、交通結節機能・アクセス機能向上のため、周辺施設等との工事調整や関係機関等との協議を踏まえた、大規模交通規制実施、電線共同溝・道路施設等の整備を予定通り進めました。
- 第1ゾーン都市計画公園については、アイデア公募や意見交換会等を踏まえ、「羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園コンセプトブック(素案)」を作成し、パブリックコメントを実施しました。また、整備・運営事業者公募資料の作成を進めました。
- 国土交通省が整備した第1ゾーン高潮堤防の令和4年4月の暫定供用に向けて、関係機関協議を実施し、要綱等を策定しました。
- 第2ゾーン河口部の緑地拡張については、基本設計が完了し、都市計画変更および事業認可されました。また、緑地拡張区間の防潮堤の整備が国土交通省により着々と進められました。
- ソラムナード羽田緑地については、水辺空間での憩い・賑わいの創出に向けて、第一期事業者等との連携による社会実験実施に向けた検討を進めました。

**所管部**

産業経済部、空港まちづくり本部



## 2 空港臨海部の魅力向上と活性化

空港臨海部の産業のあり方や空港・港湾に隣接する立地特性を活かした土地利用等により、ポテンシャルを最大限に引き出し身近で魅力溢れる空港臨海部を実現できるよう、にぎわい・観光の視点も踏まえながら地域との連携を積極的に図り、検討を進めます。

<b>決算額</b>	18,643,900 円	<b>執行率</b>	98.79%
<b>主要施策の成果（令和3年度の取組内容）</b>			
<p><b>【モノレール沿線のまちづくり】</b></p> <p>○流通センター駅周辺地区では、開発事業者と締結した協定に基づき、防災船着場の整備に向け、民間開発事業者と連携し設計を行うとともに、東京都等関係機関との協議・調整を進めました。また、防災船着場の具体的な工事に向けて、海岸法に基づく協議等の手続きを進めました。</p> <p>○羽田旭町周辺地区について、協定に基づき、旧整備場地区へのアクセス確保を目的とした海老取川に架かる人道橋整備に関して、開発事業者と連携し設計条件の整理を行うとともに、東京都等関係機関との協議・調整を進めました。また、東京都の計画である東京港防災船着場整備計画に位置付けられている東京港防災船着場羽田空港一丁目（仮称）の整備に関して、役割分担等を定める覚書を結びました。</p>			
<p><b>【埋立島部（平和島、京浜島、昭和島、城南島、東海、令和島）のまちづくり】</b></p> <p>○各島連絡協議会を開催のうえ、まちづくりに関する課題を共有し、その解決に向けた改善策について、関係機関と協議・調整しました。</p> <p>○京浜島においては、「京浜島まちづくりビジョン」の実現に向けて、企業ニーズとのビジネスマッチングのためのHANEDA×PiOの視察や、空港臨海部グランドビジョン2040についての意見交換を行いました。</p>			
<p><b>【空港臨海部グランドビジョン2030改定】</b></p> <p>○学識経験者を構成員として含む専門部会を開催（6月、8月、1月の計3回）しました。</p> <p>○空港臨海部グランドビジョン2040（素案）を作成後、11/9～30にパブリックコメント及び素案説明会を実施しました。</p> <p>○パブリックコメントでの意見を踏まえ、3/30に空港臨海部グランドビジョン2040を策定しました。</p> <p>○令和島のまちづくりについて、空港臨海部グランドビジョン2040の令和島に関するプロジェクトに関して、改定作業中に東京都港湾局や都市整備局と意見交換を実施（3回）し、調整を行いました。</p>			
<b>所管部</b>	まちづくり推進部		



### 3 空港臨海部交通ネットワークの拡充

空港臨海部の将来構想及び交通ネットワーク基礎調査を基に、空港臨海部のまちづくりと連動した道路網、公共交通機関、舟運などの交通ネットワークを拡充・整備します。空港アクセス及び都市間交通を円滑化するため、国道357号の多摩川以南の整備促進を働きかけます。

<b>決 算 額</b>	12,958,000 円	<b>執 行 率</b>	100%
<b>主要施策の成果（令和3年度の実施内容）</b>			
<p><b>【空港臨海部道路網の計画検討・整備促進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○令和3年3月に国道357号多摩川トンネル立坑工事が着手され、令和6年度の立坑工事竣工に向けた工事進捗状況について、国土交通省から情報収集をしました。</li> <li>○国道357号多摩川トンネル事業に対する意識醸成を図るため、3/11～28までパネル展を実施しました。</li> <li>○将来交通量推計結果に基づき、新規道路整備の必要性を検証し、さらにはボトルネックとなっている京和橋や京浜大橋南交差点の渋滞に対する改善策を検討しました。</li> <li>○国道357号と東京港臨海道路が交差する京浜大橋北詰交差点の渋滞改善に向けて、国土交通省との勉強会を開催（3回）しました。</li> </ul>			
<p><b>【多様な交通手段を用いたアクセス向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○内陸部と臨海部へのアクセス改善について、埋立島5島（平和島、昭和島、京浜島、東海、城南島）の交通を利用する通勤者・来訪者に対してアンケート調査を実施し、実態及び利用者のニーズを把握しました。</li> </ul>			
<b>所管部</b>	まちづくり推進部		

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2

首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 2

「国際都市おおた」の推進により、持続可能な国際交流・多文化共生を育みます

17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



## 1 「国際都市おおた」の推進

「国際都市おおた」の魅力と存在感を広く国内外へ発信していくため、外国人区民も含めた区民一人ひとりが地域の担い手として活躍でき、多文化共生\*意識の醸成や国際交流を推進する機会をつくります。

決 算 額	1,098,912 円	執 行 率	53.66%
<b>主要施策の成果（令和3年度の実施内容）</b>			
<p><b>【国際都市おおた大使の活躍支援】</b></p> <p>○これまで委嘱実績のなかった9か国（ウルグアイ、カンボジア、グアテマラ、チュニジア、パプアニューギニア、ブルガリア、メキシコ、モンゴル、ラオス）が加わり、20か国（ウルグアイ、カンボジア、グアテマラ、チュニジア、パプアニューギニア、ブルガリア、メキシコ、モンゴル、ラオス、アメリカ、韓国、イタリア、インドネシア、タイ、中国、ベトナム、ネパール、ハンガリー、シンガポール、ブラジル）出身の32名を「国際都市おおた大使」（愛称：来～る大田区大使）として任命しました。</p> <p>○大使は、地域で実施されるイベントへの参加や、新しく開設したおおた国際交流センターの愛称選考委員を務めたほか、ワクチン接種などのチラシの翻訳校正をする等、各自の得意分野で活動（38件）しました。その活動内容を区ホームページやSNS等を活用して情報発信（99件）しました。</p> <p>○新型コロナウイルスの感染拡大により、大田区の魅力を発信する機会が減少しました。そこで、大田区を5つの地区に分け、3年度の「国際都市おおた大使」が各地区を散策して、それぞれの地区の魅力が詰まった動画とポスターを作成しました。ポスターは、区内の各特別出張所及びおおた国際交流センターMinto Ota（令和4年4月11日オープン）に掲示し、完成した動画は、4月15日から大田区公式YouTubeに公開しています。</p>			
<p><b>【地域における国際交流の推進】</b></p> <p>○スポーツを通じて交流を深め、多文化共生意識の醸成を図る目的で、若い世代を中心としたスポーツ交流を開催しました。記念すべき第1回は、世界でも人気のあるフットサル交流を行いました。（参加者36人）</p> <p>○語学力を活かしたい人、国際交流に興味がある人などを国際交流ボランティアとして募集・登録し、協会事業を中心に様々な場面での活躍につなげました。</p> <p>国際交流ボランティア登録者数：304名（令和4年3月31日現在）</p> <p>○一定の英語力を有し、「ボランティア通訳・翻訳サービス事業」において活躍が期待される国際交流ボランティアを対象に、英語通訳講座及び翻訳講座を開催しました。通訳講座では、通訳者の心構えや通訳のスキルアップを図り（受講者11人）、翻訳講座では翻訳者の心構えや翻訳のコツの習得を図りました（受講者9人）。</p> <p>○大田区に住む外国人を身近な存在として感じてもらえるよう、国際交流ボランティアで構成される「隣の外国人」実行委員が区内在住の外国人を取材し、彼らの大田区での生活や現在の心境等についての記事を作成しました（発行回数：6回）。</p>			



### 【多文化共生の意識啓発と相互理解の促進】

- 18色の国際都市事業では、各特別出張所毎に計18回事業を実施しました。国際交流員による地域の魅力発信動画の作成や地域イベントの参加による外国人区民と地域住民との交流等、地域における「国際都市おおた」を推進することが出来ました。
- 多様な文化や価値観への理解を深めるためのワークショップや講座を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

**所管部**

スポーツ・文化・国際都市部

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 3

ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します

施策 1

地域に好循環をもたらす、大田区ならではの産業の発展を支援します



## 1 工場の立地・操業環境の整備

産業支援施設（賃貸工場、創業支援施設など）の管理・運営を行うとともに、中小企業が事業の拡張や高度化のために行う工事等に対して、経費の一部を助成することで、工場の立地・操業環境の向上を図ります。また区内への企業立地を促進させるため、企業誘致活動を推進します。

<b>決算額</b>	1,051,222,325 円	<b>執行率</b>	93.96%
<b>主要施策の成果（令和3年度の取組内容）</b>			
<p><b>【産業支援施設の運営】</b></p> <p>○質の高いサービスを提供し、適正かつ効率的な運営を行った結果、モニタリング調査の結果は○（きちんと履行している）評価が100%となり、指定管理者が管理する8施設すべてが目標を上回りました。</p> <p>○10/1に南六郷創業支援施設（六郷BASE）がオープンし、令和3年度の延べ入居者数はオフィスが6社、シェアードオフィスが7社となりました。また、創業に関するセミナーや体験イベント等を開催（48回、参加者数421人）しました。</p>			
<p><b>【ものづくり工場立地助成】</b> </p> <p>○令和3年度の新規認定件数は、「ものづくり工場立地助成事業」が30件、「ものづくり企業立地継続補助金」が7件、「研究開発企業等拠点整備助成事業」が5件の合計42件となりました。</p>			
<p><b>【企業誘致の取組推進】</b></p> <p>○企業留置及び企業誘致対策として、企業訪問を実施（173件）しました。</p> <p>○操業環境確保のため、不動産所有者等へのヒアリングを実施（91件）しました。</p> <p>○区内における空き不動産、事業用地の活用を促すためのパンフレットを作成し、金融機関、区内事業者に配布しました。</p>			
<b>所管部</b>	産業経済部		

※本事業の決算額は、2-3-1「5 創業支援」（P.95）の決算額の一部を含んでいます。



## 2 新製品・新技術開発の支援

中小企業が新製品・新技術を開発する際に要する経費の一部を助成し、中小企業の技術力、開発力を高める取組を支援します。助成後も数年間にわたり、評価・検証を行い、事業効果を高めます。

中小企業が開発した、優れた新製品や新技術を表彰することで、高い技術力を区内外にアピールするとともに、社内の技術力・開発力の向上意欲を高めます。

<b>決 算 額</b>	62,244,892 円	<b>執 行 率</b>	81.80%
<b>主要施策の成果（令和3年度の実施内容）</b>			
<p><b>【助成金交付】</b> </p> <p>○区内中小企業の新製品・新技術の開発支援として、助成事業への申請39件を受け、このうち17件を採択し（その後辞退1件）、16件に対して助成（トライアル助成1件、開発ステップアップ助成7件、実用化製品化助成8件）しました。</p>			
<p><b>【コンクール表彰】</b></p> <p>○区内中小企業から、優れた新製品や新技術17件の応募を受け、このうち9件（最優秀賞1件、優秀賞2件、おおたアイデア賞1件、おおたネットワーク賞1件、おおたECO推進賞1件、おおた秀逸技能賞1件、奨励賞2件）の表彰を決定しました。</p> <p>○受賞製品の特徴・講評等を記載したパンフレットの作成・配布、（公財）大田区産業振興協会ホームページへの掲載等により、受賞企業のPRを行いました。</p>			
<b>所管部</b>	産業経済部		



### 3 取引拡大の支援

中小企業の取引機会を拡大するため、受発注相談窓口を常時開設するとともに、国内・海外の商談会や大手企業とのマッチング会を開催します。自主展示会の企画運営や国内・海外の展示会への出展支援を通じ、中小企業の製品・技術を広く周知するための機会を提供します。

決 算 額	88,920,924 円	執 行 率	80.90%
<b>主要施策の成果（令和3年度の取組内容）</b>			
<p><b>【受発注相談、商談会の実施】</b></p> <p>○窓口における受発注あっせん相談では728件の相談を受け、106件（96,222,000円）を取引成立に結びました。</p> <p>○受発注あっせんに対応するための区内企業データベース整備の他、現場の支援ニーズを確認するため、区内企業812社を訪問しました。</p> <p>○大手・中堅企業へ向けた能動的なアプローチとして、ものづくり連携コーディネーター及び担当職員による発注開拓を行い、訪問先（77件）のうち32件、23,735,000円の取引成立に結びました。</p> <p>○第60回「ものづくり受発注商談会in大田」を実施（11/29、参加135社（発注45社、受注90社）、個別商談334件）しました。そのうち、27件（2,096,000円）の取引が成立しました。</p> <p>○区内企業の事業の高付加価値化を促すための商談会として、スマイル商談3ウィークを実施（3/7～25、参加17社、個別商談10件）しました。</p>			
<p><b>【展示会の開催、出展支援】</b></p> <p>○「おおた工業フェア」をオンラインで実施（参加事業者数93社・団体、オンライン登録者数1,168人）しました。</p> <p>○「大田区加工技術展示商談会」を実施（参加100社、来場者数1,527人、商談件数1,175件）しました。</p> <p>○次の国内展示会に出展し、区内企業の優れた技能・技術をPRし、大手・中堅企業等からの受注に繋げる相談を受けました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第24回関西機械要素技術展」 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、無人ブースにより出展（PRのみ）</li> <li>・「高精度・難加工技術展2021」（商談件数296件、取引成立件数25件）</li> <li>・「第12回試作市場」（商談件数62件、取引成立件数2件）</li> </ul> <p>○新製品・新技術コンクールの令和2年度受賞企業9社のうち7社に対して、希望する全国の展示会への出展費を助成することで、受賞製品等のPRを行いました（辞退1社、展示会中止1社）。</p>			
<p><b>【海外展開支援】</b></p> <p>○海外取引相談件数：区内企業を中心に延べ786件の利用がありました。 （欧州208件、中国・台湾134件、ASEAN118件、北米87件、その他239件）</p> <p>○海外の展示会への出展支援では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため出展形態を変更し、次の海外展示会に（公財）大田区産業振興協会がオンラインによる単独出展を行い、区内産業をPRしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「MD&amp;M West+」（商談件数2件、成約件数0件）</li> <li>・「香港エレクトロニクスフェア」（商談件数16件、成約件数0件）</li> </ul>			

・「FBCアセアンものづくり商談会」(商談件数20件、成約件数1件)

**【情報提供などの支援】**

○諸外国の公的産業機関等との交流:200件

(欧州64件、中国・台湾64件、ASEAN32件、北米28件、その他12件)

○海外機関・企業との国際取引あっせん:発注案件の紹介を55件行い、5件(計5,435,000円)が区内企業との間で成約しました。

○海外取引セミナー・海外市場勉強会:計7回開催しました。延べ220人が参加し、海外ビジネスに関心を持つ区内企業を支援しました。

○外国語文書翻訳サービス:延べ23社が利用しました。

○海外企業信用調査:延べ10件の利用がありました。

**所管部**

産業経済部



## 4 商いの活性化、魅力の発信

商店街が地域の団体などと連携しながら、地域コミュニティの拠点としての役割を発揮できるよう、商店街が自主的に行う魅力・機能向上のための事業を支援します。

また、魅力ある名物を多くの来場者に紹介する展示会の開催や、区内の商店街及び個店の PR を行い、大田区の商いの魅力を広く発信します。

決 算 額	471,578,404 円	執 行 率	57.10%
<b>主要施策の成果（令和3年度の実施内容）</b>			
<p><b>【商店街の機能向上支援】</b> </p> <p>○次の事業について商店会へ補助することで、魅力ある商店街づくりを行うとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止の取組を喚起し、地域コミュニティの核としての商店街機能の充実を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大田区商店街チャレンジ戦略支援事業（イベント事業・活性化事業）：47商店会、66事業</li> <li>・大田区地域連携型商店街事業：1実行委員会、1事業</li> <li>・大田区商店街地域力向上事業：31商店会、31事業</li> </ul> <p>○商店会の現状や潜在的な課題を抽出し、解決策の提案につなげることを目的として、商店会運営に関するヒアリング・業務の棚卸しを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街ステップアップ応援事業：121商店会に対し、延べ165回の巡回訪問</li> </ul> <p>○販売促進の取組を支援・実施することにより、商店街のにぎわい・つながりの創出に寄与し、地域及び商業の活性化を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大で消費が落ち込む地元店舗の利用を促進し、消費喚起、商店街活性化及び新しい生活様式への対応につなげるため、2種類の商品券事業を行いました。</li> <li>プレミアム付デジタル商品券事業：利用者数38,681人、販売数150,814口</li> <li>プレミアム付地域商品券事業：17商店会、15事業</li> <li>・訴求対象や媒体に工夫を凝らし、商店会、個店及びグループがPRを実施する事業に対して周知費等への補助を行いました。</li> <li>大田区商店街戦略的PR事業：17商店会、17事業</li> </ul>			
<p><b>【商いの魅力発信】</b></p> <p>○「おおた商い・観光展」は、令和2年度から区内全域を一つのパビリオンに見立てて区内回遊を促進するスタイルで実施し、令和3年度は、「三国志」をテーマに、技（魏）・娯（呉）・食（蜀）に関する地域の特徴と魅力を生かした事業を展開しました。11/14～12/12にかけて開催し、196事業者・団体の参加により、商機拡大と観光振興に繋がりました。</p> <p>○（公財）大田区産業振興協会の「おおた商い・観光展」特設ホームページ（アクセス件数38,932件）において、9つのキャンペーン・イベントを告知しました。また、会期中はQRコードを用いたスタンプラリーで参加事業者の店舗や観光スポットへの回遊を促し、QRコード読み取り総数2,664件、抽選応募数216件となりました。</p>			

**【大田区の特選品・グルメのPR】**

- 東急プラザ蒲田で「大田のお土産100選フェア」を実施(9/18~20)し、出展販売17事業者が参加しました。
- B.LEAGUEアースフレンズ東京Z「おいでよカマタZ」を実施し、第1回(9/17)は納品販売5事業者、第2回(12/11~12)は納品販売8事業者が参加しました。
- 「大田のお土産100選」と「OTA!いちおしグルメ」Webサイトを連携しました。
- 店頭掲示用の「大田のお土産100選」ロゴシールを作成し、表彰事業者へ配布しました。
- 表彰事業者に行った本事業の全体評価アンケートは、満足度が78%でした。

**所管部**

産業経済部



## 5 創業支援

新たに区内で立地を希望する創業者への支援に取り組みます。窓口相談、ものづくり創業スクールなどの開催により、創業者が立地・事業展開しやすい環境をつくれます。

<b>決 算 額</b>	13,630,658 円	<b>執 行 率</b>	74.59%
<b>主要施策の成果（令和3年度の取組内容）</b>			
<p><b>【創業者支援相談】</b></p> <p>○創業相談窓口での相談対応を延べ575回実施しました。</p> <p>○ものづくり分野で創業を目指す方を対象に、専門家によるトークセッション及びビジネスアイデアの作成等を行う創業体験ワークショップを9月に実施（4回、参加者数93人）しました。ワークショップだけでなく、専門家による講義やメンタリングも行き、最終的に全チームがオリジナルのビジネスプランのピッチ（プレゼンテーション）を行いました。</p> <p>○特定創業支援事業等事業対象講座（創業セミナー）は、スタートアップ試作支援の中で実施しました。</p>			
<p><b>【スタートアップ試作支援】</b> </p> <p>○スタートアップ試作支援事業のうち、創業セミナーは10月に実施（4回、参加者数延べ71人）しました。12月からのベンチャーピッチ in 羽田はコーチングプログラムに15社の参加申込みがあり、審査の結果8社を選定しました。選定した8社に対し、全体コーチング（2回）及び個別コーチング（複数回）を実施し、ピッチイベントを開催（2/18）しました。</p> <p>○スタートアップ企業が抱える課題解決に向けて、ユナイテッド助成事業への申請2件を受け、その2件に対して採択・助成により、付加価値の高い案件を区内に呼び込むとともに、受注増加・販路拡大と技術力向上を図りました。</p>			
<b>所管部</b>	産業経済部		

※本事業に係る一部決算額は、2-3-1「1 工場の立地・操業環境の整備」（P.89）で計上しています





## 6 ネットワーク形成支援

大田区のものづくり企業の競争力の源泉でもある「仲間まわし」のネットワークを維持、発展するため、IoTなどを活用し、既存ネットワークの体制強化、機能向上を目指すとともに、試作開発案件等のニーズとのマッチングを促進する環境を構築します。

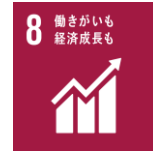
また、中小企業が新事業展開に向けて構築する新たなネットワークの形成を促進するため、必要な経費の一部を助成します。助成後も数年間にわたり評価・検証を行い、事業効果を高めます。

併せて区内中小企業が「EV・自動走行・モビリティ」「ヘルスケア」「ロボティクス」等を中心とした、成長が見込まれる分野の産業クラスターを形成することを目的として、オープンイノベーションを戦略的にマネジメントし、具体的な製品開発等を実現していきます。

<b>決 算 額</b>	129,860,773 円	<b>執 行 率</b>	95.18%
<b>主要施策の成果（令和3年度の実施内容）</b>			
<p><b>【IoT仲間まわしによる中小企業の生産性向上プロジェクト】</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○IoT技術を活用し、IoT仲間まわしによる中小企業の生産性向上を実現し、発注者に対し効率的なものづくりを提供するための事業を推進しました。</li> <li>○企業変革の促進（利益率、付加価値の高い提案型の仕事獲得に向けた変革）として、必要なノウハウの表出化や共有化を行うとともに、農業分野をターゲットにすることで新たな開発案件等を獲得することに成功しました。</li> <li>○仲間まわしの生産性向上として、仲間まわしの工程に効果的なデジタルツールの開発及び導入に向けた実証実験を実施し、その成果をもとに区内中小企業のネットワーク化に向けたデジタルの仕組みを構築しました。</li> <li>○推進体制の構築・強化（コンソーシアムの拡充）として、新たにシステム構築を担う企業との連携を強化しました。</li> </ul>			
<p><b>【次世代産業創造・産業クラスター形成支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○オープンイノベーション機会の創出に向けて、「おおた研究・開発フェア」をオンラインで実施（出展者数76社・団体、登録者数1,419人、商談件数198件（うち、可能性高38件））しました。</li> <li>○産業クラスターの形成を見据え、オープンイノベーションマッチング及び各種セミナー・ワークショップを開催（参加者数合計320人）しました。</li> </ul>			
<b>所管部</b>	産業経済部		

## 7 多様な産業の持続的な発展に向けた人材育成

・ 事業承継・危機管理




区内の多様な産業集積が今後も維持・発展し続けるために、次代を担う世代が「働くこと」に対する興味を持ち、「しごと」について考える機会の提供などを行います。

また、経営者の高齢化や後継者不足の課題に対応するために、円滑な事業の承継に向けた取組を支援します。

併せて、区内産業が災害や感染症等の影響を受けたとしても、その影響を最小限に留めて事業を継続できるようにするため、企業向けBCP（事業継続計画）策定の普及啓発を行います。

決 算 額	11,054,660 円	執 行 率	95.54%
<b>主要施策の成果（令和3年度の取組内容）</b>			
<p><b>【次代を担う人材の育成】</b> </p> <p>○次世代のものづくり人材を確保・育成するため、以下のとおり講座・セミナーを開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくり実践教室Ⅰ（小学校低、中学年）：3月開催 100組200人参加</li> <li>・ものづくり実践教室Ⅱ（小学校高学年及び中学生）：2月、3月開催 55人参加</li> </ul> <p>○次代を担う商業事業者（リーダー）の育成支援事業として、次のとおり実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代リーダー育成塾（ネットワーク事業）：14人参加、3事業実施</li> <li>・次世代リーダー育成塾（トライアル事業）：24人参加、4事業実施</li> </ul>			
<p><b>【事業承継の取組支援】</b></p> <p>○事業承継等情報交換会を7/5に開催しました。</p> <p>○事業承継の相談体制づくりや事業承継にかかる普及啓発を進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー開催：1回</li> <li>・相談会開催：2回</li> <li>・フィールドワーク：1回</li> </ul> <p>○事業承継に関する相談件数は、6社でした。</p>			
<p><b>【企業向けBCPの普及啓発】</b></p> <p>○各事業者が共通的に使用することのできる「大田区簡易版BCPシート」を作成（『災害編』・『感染症編』各10,000部）し、区窓口及び各産業団体経由で事業者への配布を行ったほか、区ホームページにも掲載するなど、積極的な普及啓発を行いました。</p>			
<b>所管部</b>	産業経済部		

## 8 経済活動支援策

<b>決算額</b>	1,583,108,323 円	<b>執行率</b>	99.38%
<b>主要施策の成果（令和3年度の取組内容）</b>			
<p><b>【中小企業等への支援】</b> </p> <p>○中小企業信用保険法第2条第5項及び第6項（セーフティネット保証制度及び危機関連保証制度）に基づき、認定申請のあった中小企業・小規模事業者に認定（セーフティネット保証4号：952件、セーフティネット保証5号：194件、危機関連保証：114件）を行いました。</p> <p>○区内中小企業・小規模事業者からの申請を受け、融資あっせん（3,708件、計46,843,750,000円）を行いました。令和3年8月末日をもって、新型コロナウイルス対策特別資金は終了（通算実績：5,225件、104,400,000,000円余）しましたが、通常資金制度への移行に伴う激変緩和措置として、一般運転資金（利子補給加算）の受付を9/1から開始しました。本制度の令和3年度実績は、1,218件、13,632,200,000円です。</p>			
<b>所管部</b>	産業経済部		

基本目標 2	まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
個別目標 3	ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
施策 2	大田区の魅力国内外にアピールします



## 1 シティプロモーションの推進

大田区シティプロモーション戦略及び同アクションプラン並びに大田区観光振興プラン2019-2023に基づき、積極的かつ効果的なシティプロモーションを展開します。

大田区の持つ多様な魅力や地域資源を総合的にPRすることで、大田区の認知度や区内回遊性の向上を図り、地域経済の活性化をもたらすことを目指します。また、区民がこれまで気付かなかった大田区の魅力を知り、このまちで暮らすことに誇りや愛着を持てるよう、情報発信手法を工夫しながら多様な取組を推進します。

決 算 額	21,458,330 円	執 行 率	66.19%
<b>主要施策の成果（令和3年度の取組内容）</b>			
<b>【シティプロモーションの推進】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○大田区シティプロモーションサイト「UniqueOta」及び関連SNSにおいて、区のユニークな地域資源であるものづくりや銭湯等の記事に加え、新型コロナウイルス感染症禍におけるニーズを捉えたテイクアウトに関する記事等、区内外へ向けて積極的に情報発信を行いました。</li> <li>○隠れた地域資源の発掘や区の魅力発信に繋げるために、ツイッターを活用し、「#uniqueota フォトキャンペーン2021」を開催（11/15～R4/1/15、写真投稿数303枚）しました。その結果、ツイッターのフォロワー数増（176人増）やキャンペーン終了後も引き続き、「#uniqueota」のハッシュタグを設定し、SNS投稿を行い、自発的におおたの魅力を発信する方が増える等の効果が得られました。</li> <li>○大田区シティプロモーションサイト「UniqueOta」内のバーチャル美術館「UniqueOta Virtual Museum」に、郷土博物館並びに龍子記念館への来訪促進、回遊の強化を図ることを目的に、各館周辺のおすすめスポットを追加しました。</li> <li>○区長記者会見時のプロンプター、足踏み消毒パネル等「おおた」の技術を活かした工業製品、大田のお土産100選の地酒等、様々な場面において、シティプロモーションのブランドメッセージを視覚的に印象付けるためロゴマークを活用しました。</li> </ul>			
<b>【メディアなどを活用した情報発信】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○大田区公式観光サイト（日本語・英語・中国語（繁体・簡体）・韓国語・タイ語・フランス語）に、24件のコンテンツの掲載を行い、延べ345,089件のアクセスがありました。</li> </ul>			
<b>【シビックプライド醸成に向けた取組】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○おおたプライド事業「大田区学」ミニミニ講座を大田区YouTubeチャンネルで6件配信しました（総再生回数：9,100回）。</li> <li>○おおたプライド事業「大田区学」大田区学クイズを大田区YouTubeチャンネルで3件配信しました。</li> <li>○日本工学院専門学校デザインカレッジデザイン科の協力により、大田区学ロゴを制作しました。</li> </ul>			

【大田区公式PRキャラクター「はねぴょん」の活用】

- 大田区 YouTube チャンネルを活用し、区内探訪「はねぴょんさんぽ」を5件配信しました（5月：銭湯、7月：餃子、9月：東京羽田ヴィッキーズ、12月：大田清掃工場、1月：下丸子周辺／総再生回数：7,500回）。
- 他自治体ご当地キャラクターイベントへリモートにより参加（3回）しました。
- 公式Twitterによる発信を行い、前年度比600人増となる4,570人のフォロワーを獲得しています（令和4年3月31日現在）。

**所管部**

企画経営部、産業経済部



## 2 来訪者等受入環境整備

インバウンドに対応する環境整備から、区内及び近隣諸都市の住民を対象としたマイクロツーリズムに注力します。また、区内経済活性化に寄与する、MICE誘致の取組を推進します。

決 算 額	62,280,309 円	執 行 率	80.90%
<b>主要施策の成果（令和3年度の取組内容）</b>			
<p><b>【ウェルカムショップ制度の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○登録店舗・施設を拡充し、登録件数は284件となりました。</li> <li>○大田区観光情報センターにトライアルコーナーを設置しました。</li> <li>○ウェルカムショップ・まちかど観光案内所統合に向けた準備をしました。</li> </ul>			
<p><b>【まちかど観光案内所の制度の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○登録店舗・施設を拡充し、登録件数は308件（うち区施設73件）となりました。</li> <li>○大田区観光情報センターにトライアルコーナーを設置しました。</li> <li>○ウェルカムショップ・まちかど観光案内所統合に向けた準備をしました。</li> </ul>			
<p><b>【大田区の観光拠点施設の運営】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大田区観光情報センター、羽田空港第3ターミナル大田区観光情報コーナー等において、観光情報の提供を行いました。</li> <li>○大田区観光情報センターの利用者は以下のとおりでした。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数 35,374人（うち外国人187人）</li> <li>・観光相談件数 812件（うち外国人75件）</li> <li>・文化体験利用者数 0人（休止中）</li> </ul> </li> <li>○大田区観光情報センターにおいて、おたの魅力発信をテーマとした様々なイベントや地域の店舗を期間限定で紹介する企画を実施しました。</li> <li>○池上駅大田区観光情報コーナーにおいて、パンフレットの配架、イラストマップの展示、デジタルサイネージを通じて、大田区内の観光情報を発信し、認知度向上並びに誘客を図りました。</li> </ul>			
<p><b>【大田区観光案内サイン整備の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観光案内サイン52基の盤面修正を行いました。</li> </ul>			
<p><b>【MICE誘致の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○有識者、観光・産業実務関連者により設置された大田区 MICE 誘致準備会をオンラインにて実施（1回）し、大田区 MICE 開催支援助成金の交付状況及び「OTA Medical-MICE Project」について報告するとともに、次年度以降の MICE 事業の方向性について意見聴収を行いました。</li> <li>○大田区MICE開催支援助成金を交付（1件）しました。</li> <li>○「OTA Medical-MICE Project」を始動し、羽田イノベーションシティ内民間エリアの「医療技能訓練所」で開催される臨床工学技士の研修生に対し、専用サイト「うえるかむ OTA」にて区内の飲食、土産、宿泊情報を提供しました。</li> </ul>			

○MICE誘致に係る知識等を習得するため、東京都・(公財)東京観光財団主催のMICEグローバル人材育成講座(基礎)に参加しました。

**所管部**

産業経済部

### 3 観光まちづくりの支援と多様な主体と連携したにぎわいの創出

空港・鉄道、観光関係団体・NPO、他自治体などとの連携・支援の推進により、地域の「にぎわい」を創出し、区内外からの来訪者誘致を図ります。

<b>決 算 額</b>	32,674,644円	<b>執 行 率</b>	71.77%
<b>主要施策の成果（令和3年度の実施内容）</b>			
<p><b>【観光まちづくり団体などへの支援】</b></p> <p>○（一社）大田観光協会が実施する「おおた商い・観光展」「おおたオープンファクトリー」等、観光まちづくりに資する事業への支援を行いました。</p>			
<p><b>【地域が主体となったにぎわい創出への支援】</b></p> <p>○東急池上線沿線や中原街道沿いのラーメン店にご協力いただき、スタンプラリー形式のイベントを開催しました。</p>			
<p><b>【自治体間広域連携の推進（川崎市・品川区等）】</b></p> <p>○英語・繁体字・簡体字圏で影響力が強いメディアへ区内スポットを紹介する記事を7回投稿しました。</p> <p>○中国及び台湾のインフルエンサーへ向け、観光スポットを紹介するオンラインセミナーを実施しました。実施後は、各インフルエンサーが所有するSNSのアカウントを通じて区内の魅力を発信いただきました。</p> <p>○東急池上線長原駅の駅舎リニューアルを契機に、洗足池や旗の台等の観光スポットや協力店舗を紹介した冊子マップを制作しました。制作後は、マップを用いた商店街に散らばる文字探しイベントや、協力店舗への冊子マップ提示による各店舗独自プレゼントを実施しました。</p> <p>○川崎市との連携について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業実施を見送りましたが、令和4年度の事業実施に向けた検討を行いました。</p>			
<p><b>【観光関連事業者・関係団体との連携】</b></p> <p>○区内観光関連事業者・関連機関との連携を図り、大田区の観光振興を推進することを目的とする大田区観光推進連絡協議会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止としました。</p>			
<b>所管部</b>	産業経済部		